

事前評価個表

整理番号	18
------	----

地域（地区）名	<small>よどがわじょうりゅう</small> 淀川上流	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	京都府	対象市町村	京都市ほか7市町村
事業実施期間	R5年度～R9年度（5年間）	事業実施主体	府、市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は京都府の南部に位置し、森林面積は158千haと区域面積の約7割を占め、対象民有林は154千ha（森林全体の97%）、うち人工林は59千ha（人工林率38%）となっている。また、人工林の齢級構成は、10齢級以上が77%を占めるなど、森林資源が充実している。</p> <p>これまで、森林の公益的機能の維持増進を図るとともに、充実した森林資源を有効活用するために、森林整備を推進してきたが、近年、集中的かつ高強度の豪雨等が多数発生するなど、山地災害が激甚化・多発化する傾向にあることを踏まえ、森林の公益的機能の十分な発揮に対する地域住民の期待はより一層高まっており、伐採後の適確な更新や森林の育成段階に応じた適切な保育、間伐等の施業を着実に実施することによる災害に強い森林づくりが求められている。また、充実した森林資源を活用するため、主伐・再造林による森林資源の循環利用を進め、地域林業の持続可能な成長産業化を目指す必要がある。</p> <p>本事業では、森林の有する多面的機能の維持増進を図るため、森林経営計画等に基づき、間伐や再造林等の森林整備を計画的に実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：7,850ha</p> <p style="text-align: center;">人工造林、樹下植栽、下刈り、雪起こし、枝打ち、除伐、保育間伐、間伐等</p> <p>総事業費：6,338,566千円（税抜き5,762,332千円）</p>
費用便益分析結果	<p>$B/C = 3.58$</p> <p>（総便益（B）=22,064,323千円、総費用（C）=6,171,343千円）</p>
評価結果	<p>必要性：森林の有する土壌保全機能等の公益的機能の持続的な発揮を図るため、間伐や再造林等森林の整備及び保全を進める必要があり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析結果から十分な効率性が認められるとともに、効果的かつ効率的な森林整備を進めるため計画的に事業を実施することとしており、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：森林整備によって、森林の有する土壌保全機能等の公益的機能及び木材等生産機能の維持増進が図られるため、事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：京都府

地域(地区)名：よどがわじょうりゅう
淀川上流

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	6,202,844	
	流域貯水便益	1,215,674	
	水質浄化便益	4,784,885	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,633,634	
環境保全便益	炭素固定便益	3,213,138	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	3,014,148	
総 便 益 (B)		22,064,323	
総 費 用 (C)		6,171,343	
費用便益比	$B \div C = \frac{22,064,323}{6,171,343} = 3.58$		

